

# 公共サービスの改革とその担い手 — 国際比較で検証する —

新しい社会保障制度の改革の方向としての「1970年代モデル」から「21世紀（2025年）日本モデル」への転換が示しているように、日本社会における公共サービスのあり方は大きく変わろうとしている。戦後の福祉国家の形成がイメージしていた先進国としての豊かな成熟社会の実現は道半ばであり、またこれからの課題への救世主として登場した新しい社会形態であるはずの「新しい公共」の構築にも課題は山積している。

1980年代には欧米諸国との比較に立った「追いつき・追い越し」の近代化は終了し、経済大国として自立したはずの日本の公共サービスは満足いく水準に達しているだろうか。また、公共サービスの構造的転換を前に、その担い手は十分に確保されているのだろうか。

OECD諸国においては、福祉国家の見直しが

始まった1970年代以降、政権交代を経験しながら公共サービスの改革を重ねてきており、中でも地方自治の母国である英国においては、右派政権・左派政権を乗り越え、「第3の道」へと舵をとり、新しい公共サービスの形を持続的に発信している。英米の改革モデルは、今日の日本社会に何を示唆しているのだろうか。

今回の講演会では、自治行政の国際比較を専門としている申龍徹主任研究員に国際比較における日本、そして千葉県の公共サービスの水準とその担い手確保をめぐる諸課題について講演していただきます。また、講演に続いて、地方自治を専門とする宮崎理事長との対談を予定しています。ふるってのご参加をお待ちします。

**[資料代 500円 会員無料]**

## 自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2013年10月26日（土）14:00～
- 会場：千葉県教育会館本館303会議室  
千葉市中央区中央4-13-10

### <講演 講師紹介>

**申 龍徹(シン ヨンチョル)**  
1969年韓国ソウル生まれ  
(現職)千葉県地方自治研究センター主任研究員、法政大学公共政策大学院客員准教授  
(専攻)行政学・地方自治・国際関係論  
(著書)「東アジアの公務員制度」(共編著)、「アジアの中の日本官僚」、「自治体経営改革」



**宮崎伸光(ミヤザキ ノブミツ)** 1957年生まれ  
(現職)千葉県地方自治研究センター理事長、法政大学法学部教授  
(専門分野) 自治制度、消防行政  
(略歴) 地方自治総合研究所研究員を経て、2002年法政大学法学部教授  
千葉県地方自治研究センター結成に参画

★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020  
FAX 043-225-0021  
☆10月18日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉